

埼玉の造り手

Vol. 41

赤沼ロマン
ブルーイング



古代米「赤米」を使った「赤沼ロマンビール」の誕生

今から24年前の2000年、4年後に市政50周年を迎える春日部市で、地域おこしの一環として「地元ならではの名産品」を生み出すプロジェクトが始動した。その中で注目されたのは、かつて赤沼地域で栽培されていた栄養価の高い古代米「赤米」だ。地元農家や加工業者の協力の元、赤米の栽培が決定。うどんやお菓子、さらには、しめ縄や麦わら帽子の原料として幅広い活用方法が検討された。

そんな中、明治時代には、この赤沼の地にビール醸造所が存在していたという歴史に着目した筒野社長は、「赤米を使ったビールづくり」に挑戦することを決断。2004年に委託醸造による「赤沼ロマンビール」を誕生させた。その後15年間、地元の名産品として愛され続けてきたが、2019年からのコロナ禍で状況が一変。緊急事態宣言により販売が困難になり、委託醸造もストップした。それでも筒野社長は諦めなかった。「志半ばで辞めるわけにはいかない」との強い決意から、設備を整えて自らビールを醸造する道を選択。お客の多様なニーズに応えるべく複数の液種をそろえ、再び赤沼ロマンビールの販売を始めた。



カウンター越しに醸造タンクを見ることができ、ビール好きにはたまらない、おしゃべりな雰囲気を感じられる店内

東武特急「スペースX」でも楽しめる！

何度も試行錯誤を繰り返して作り上げたビールは、フルーティーで華やかな余韻を楽しめる「あかロマン (Pale Ale)」、黒ビールの香ばしさにローストコーヒー風味がよく合う「くろロマン (Porter)」、小麦の爽やかな酸味と苦味の少ない柔らかな味わいの「しろロマン (White Ale)」、アメリカンホップのフルーティーな香りやパンチのある苦味が特徴の「きんロマン (IPA)」の定番4種の他、夏ミカンや生姜を使った季節限定のビールや、茶葉を使った「アールグレイビア」「緑茶ビア」「ほうじ茶ビア」「ウーロンビア」など、さまざまな種類のビールを提供している。

現在、浅草駅から日光駅を通り鬼怒川温泉駅までをつなぐ、東武特急スペースXのカフェカウンター「GOEN CAFE SPACIA X」でも楽しむことができる。各種ある赤沼ロマンビールの中から、季節に合わせた液種をゲストビールとして提供している。赤沼ロマンビールを求めてスペースXに乗車するファンもいる。

「今後も、赤沼ロマンビールをつくりながら、ブルワリーならではのアプローチで、ビールファンのすそ野を広げていきたいと思っています」と筒野社長は意気込みを語った。



「若いお客さんが多く、生き生きとした雰囲気を感じ、それがビールづくりの活力となっています」と話す筒野社長

株式会社筒屋

(赤沼ロマンブルーイング)

<https://akanumaroman.com>

春日部市赤沼704-2 Tel 048-734-0501

代表者 筒野 広康 氏

創業 1978年 資本金 1,000万円

事業内容 クラフトビールの製造・販売

購入方法 直売店(量り売り・瓶売、土曜・日曜13:00～17:30)、近隣飲食店ほか

※オンラインショップ <https://shop.akanumaroman.com>



飲み比べができる「定番4種と期間限定セットA(6本セット)」

● 一般社団法人埼玉県物産観光協会の紹介

一般社団法人埼玉県物産観光協会は、日々新しく生まれる魅力的な県産品や生産者の思いを『SAITAMA BRAND』として発信し、多くの皆様に知っていただきたく、「埼玉県新商品 AWARD」を立ち上げました。埼玉県の生産者が技術と伝統、土地の恵みを生かして開発した素晴らしい商品をご覧ください。
<https://chocotabi-saitama.jp/award>



● 読者プレゼント実施中！

赤沼ロマンブルーイングの「定番4種+お楽しみ2種の特別6本セット」を1名様にプレゼントいたします。応募は、本コーナーの感想などを添えて、「企業名、所在地、役職・氏名、電話番号、赤沼ロマンビール希望」を記載の上、so-dan@saitama-j.or.jp宛てメール、または、右の読者プレゼントの専用QRコードから、2月25日(火)までに、ご応募ください。当選者の発表および当選商品は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

